

ドローンの活用によりこれまで人が立入りできなかった海食崖の調査を実施 —海食崖の侵食実態調査(五浦海岸(北茨城市))—



【課題と対応】

- 近年、長年の風雨や波浪に加え、東日本大震災による強い揺れや地盤沈下も重なり、急激に侵食（海食洞の発生）が進行。
- これまでは人の立入りができず、地形把握が困難。



- 最新技術ドローンを使って海食崖の調査を実施。
 - ・ 詳細な地形の把握が可能 → 今後の侵食対策の検討に活用

【調査概要】

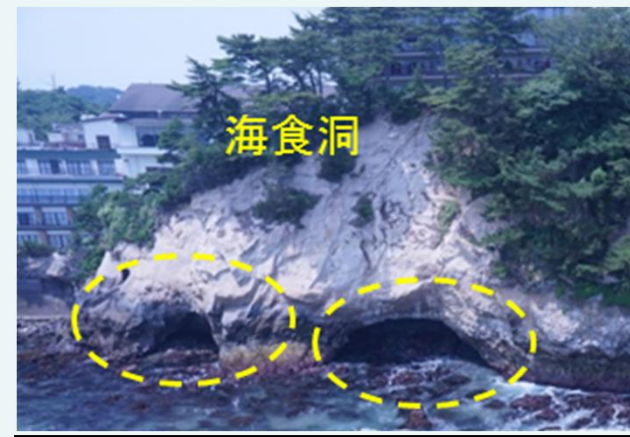
調査箇所 北茨城市大津町地先 五浦海岸周辺
 調査月日 平成27年7月31日（金）

ヘリを使って概略の地形を調査(従前)



複雑な地形のため、人や船が立入りできず、ヘリで調査を実施
 ⇒ 詳細な地形の把握ができない

ドローンを使って詳細な地形を調査(今回)



最新技術ドローンを使って、海食崖に接近して調査を実施
 ⇒ 詳細な地形の把握が可能になった

